

大湾区情報 No. 65

グレーターベイエリア情報 発行：2023年8月29日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広州－深圳間に第2の高速鉄道建設 南方向延伸線は深圳北駅、香港へ接続】](#)

[【フォーチュン・チャイナ 500 に広東省企業 70 社がランクイン 新エネルギー産業が輝かしい結果に】](#)

[【珠江デルタ 9 都市 2023 年上半期経済データ発表 成長率トップは深圳、工業成長率トップは珠海】](#)

【広州－深圳間に第2の高速鉄道建設 南方向延伸線は深圳北駅、香港へ接続】



早くて 2024 年にも広州、東莞、深圳の 3 都市を經由する広州－深圳第二高速鉄道（以下「広深第二高鉄」）が着工します。南北に延び 2029 年に完工の見込みで、広州、深圳と東莞とを直接結び、広深第二高鉄の南方向延伸線は、深圳北駅までつながり、香港にも接続することができます。

広東省公共資源取引プラットフォームで新たに発表された「第二高速鉄道東莞中心駅都市設計・交通計画・都市再生統括入札公告」によると、広深第二高鉄「東莞中心駅」は東莞市南城区蛤地地区に位置することが確定しており、この新しい高速鉄道の全路線の方向性が確立されてきています。完成後は広州と深圳空港間の所要時間はわずか **20** 分となり、広州－深圳間の連携発展がさらに促進されます。

計画によると、広深第二高鉄は前海を經由して南方向へ延伸され、深圳北駅と香港を繋ぎます。将来的には、香港・深圳西部鉄道プロジェクトと接続し、香港の交椅洲人工島や香港国際空港までつながり、広州、深圳、香港の **3** 大空港が **1** 本の路線で相互接続することが期待されています。

広東省交通運輸庁の責任者は、広深第二高鉄の建設は広州と深圳の「ツインシティリンク」を促進し、世界的な影響力を持つ大湾区の「ツインシティ」を共同で作出し、広東省が質の高い発展を実現する原動力になるよう導くことができると述べました。また、広深第二高鉄は香港との連結も計画されており、広東省と香港の都市との「内循環」が大幅に加速され、また広東省と香港の人々の行動マップも新たに塗り替えられ、広州、深圳、香港の共同都市化が実現し、広東省と香港の経済の大いなる統合と大いなる発展が促進されます。

【フォーチュン・チャイナ 500 に広東省企業 70 社がランクイン 新エネルギー産業が輝かしい結果に】



北京時間 7 月 25 日、フォーチュン誌公式サイトは 2023 年フォーチュン・チャイナトップ 500 ランキング（以下、「ランキング」）を発表しました。企業登録所在地ベースで、広東省企業が 70 社ランクインしました。

今年ランクインした中国企業 500 社の 2022 年の営業総収入は 15 兆米ドル、純利益は 7,171 億米ドルとなります。中国平安保険（集団）有限公司は、広東省企業としては最高位の 9 位にランクインし、トップ 10 にランクインした唯一の中国本土の民間企業となりました。

広東省企業は力強い発展を続けており、中国経済への新たな力としての役割が注目されています。中国平安保険（Ping-An Insurance）、ファーウェイ（Huawei）、正威国際（Amer International）、テンセント（Tencent）、広州汽車（Guangzhou Automobile）などの広東省企業が上位 100 位のうち 11 社を占め、そのうち民間企業が 80%以上を占めています。

地理的な分布を見ると、広州市、深圳市、仏山市、東莞市、珠海市、中山市、惠州市、江門市、雲浮市などの企業がランクインしています。これは、都市間の相乗的な発展が地域経済発展の強力な原動力となっていることを示しています。

その中で、広東省のトップ 10 企業は深圳市と広州市に集中しており、そのうち深圳市が大きくリードして 7 社、広州市 2 社、仏山市 1 社となっています。

収益性の面では、最も収益性の高い企業 10 社のうち、テンセントは 279 億米ドルを超える純利益を上げ、利益ランキング 6 位にランクインしました。純利益率の上位 40 社のうち、テンセント、中国招商銀行（China Merchants Bank）、海天調味（Foshan Haitian Flavouring and Food）、広発証券（GF Securities）など広東省企業 5 社がランクインし、全体の 8 分の 1 を占めています。

産業分布の面では、産業構造の多様化・最適化が進んでおり、ランクインした企業はエレクトロニクス・電子部品、インターネット・通信、家電、自動車、金融投資、銀行・保険、生物医学、インフラなど幅広い分野に及んでいます。

製造業は広東省の最強の資産であるだけでなく、広東省の更なる発展のための武器でもあります。ランクインした広東省企業の中で、製造業と電子情報産業は明らかな優位性を持っています。中でも自動車産業、特に新エネルギー産業は輝かしい業績を持っています。小鹏汽車（Xiaopeng Motors）は初めてランキングに入り、455 位にランクされました。比亞迪（BYD）はランキング内で最も収益が伸びた企業で、前年同期比 92.4% 増加しました。広州汽車は今年の 181 位から 50 位にランクが上昇しました。

2023 年 1 月から 6 月まで、広東省の新エネルギー自動車生産台数は 103.77 万台で、全国の 28.74% を占め、全国の新エネルギー自動車 4 台に 1 台相当が広東省で生産されていることとなります。広東省が注力している新分野の代表例として挙げられる新エネルギー自動車産業の発展は、広東省のイノベーションへの取り組みを反映しています。また、高品質な発展の段階に入り、広東省はより積極的に開発アプローチを構築し、経済発展のイニシアチブを掌握していきます。

常に実体経済を基盤とし、製造業を主力とする広東省は、世界のバリューチェーンのミドルエンド、ハイエンドへの産業の加速化を推進しており、より国際競争力のある近代的産業システムの構築において新たな突破口を開いていきます。

【珠江デルタ 9 都市 2023 年上半期経済データ発表 成長率トップは深圳、工業成長率トップは珠海】

2023年上半期珠江デルタ9都市経済データ				
	GRP総額 (億人民元)	前年同期比 増減	一定規模以上工業増加値 (億人民元)	前年同期比 増減
広東省	62,909.80	5.00%	19,300.00	2.50%
深圳市	16,297.60	6.30%	未公表	3.90%
広州市	14,130.69	4.70%	未公表	-0.90%
仏山市	6,070.77	5.20%	3,002.69	7.20%
東莞市	5,262.10	1.50%	2,379.57	-5.90%
惠州市	2,545.45	5.10%	1,173.12	2.10%
珠海市	2,063.29	5.10%	766.14	5.80%
江門市	1,826.69	5.00%	697.78	3.40%
中山市	1,811.38	5.50%	725.89	4.30%
肇慶市	1,194.66	2.90%	397.24	0.50%

先日、広東省各都市の上半期経済データが相次いで発表されました。2023 年上半期の珠江デルタ 9 都市の GRP（域内総生産）は 5 兆 1,200 億人民元を超え、全省の 80%以上を占めました。深圳市は依然として広東省で GRP 最大の都市であり、上半期の GRP は 1.6 兆人民元超、広州市がそれに続き 1.4 兆人民元超という結果でした。

また、深圳市は 9 都市の中で最も成長率の高い都市で、上半期 GRP 成長率は前年同期比 6.3%増、次いで中山市が 5.5%増、仏山市が 5.2%増となりました。珠海市、惠州市、江門市などについても広東省全体の成長率を上回っています。

広州、深圳両都市の総合経済指標は 3 兆人民元超

広東省の経済の二大都市である広州市と深圳市は今年、両都市の伝統的な基幹産業が、多かれ少なかれ打撃を受けています。

現在の環境から見ると、広州市は、石油化学、エレクトロニクス、自動車産業の需要の減少に制約され、新しい産業の勢いはまだ積み重ねの最中にあります。上半期、広州市の一定規模以上工業の増加値（付加価値額）は引き続き前年同期比 0.9%減少となりました。

近年、広州市は過去の製造業の割合低下傾向を逆転させ、新世代情報技術、新エネルギー自動車、インテリジェントネットワーク自動車、インテリジェント・ハイエンド設備、生物医薬などの 10 大重点産業の発展を加速させることに力を入れています。

珠江の東側と西側両岸における先進的製造業と現代的サービス業の統合と発展において、新たな競争上の優位性を形成し、新しい業態を生み出し、成長の新たな道を切り開き推進することは、広州の現代化産業システムを育成する重要な方法の一つです。研究開発とイノベーションを強化し、グリーンと低炭素の変革を加速し、金融サービス機能を強化することにより、広州市は上半期に新エネルギー自動車産業と医薬品製造業という 2 本のスピーディな発展が望める産業競争のレースコースを形成しました。

上半期には、新エネルギー自動車生産量が 1.1 倍増を達成し、その付属施設である充電スタンドも急速に拡大し 21.3% 増加しました。医薬品製造業も徐々に生産能力を増加し、コロナ検査キット生産の影響を除いた上半期の医薬品製造業の増加値は 31.7%、第 1 四半期比でも 8.3% 増加しました。

全体として、世界的なビジネス往来の正常化を背景に、オフライン消費とサービスのリバウンドが続き、広州は第 2 四半期に回復を見せています。今年上半期の広州市の GRP は 1 兆 4,130.69 億人民元で、前年同期比 4.7% 増となり、第 1 四半期の成長率を 2.9 ポイント上回りました。

今年上半期の深圳市 GRP は 1 兆 6,297.6 億人民元を実現し、前年同期比 6.3% 増と一線都市（北京、上海、広州、深圳等）の成長率では上海市に次ぐ 2 位となりました。投資は上半期において重要な補助的な役割を果たしました。上半期、深圳市の工業投資は 47.5% 増と高い伸びを示し、そのうち製造業への投資は 54.2% 増、ハイテク製造業への投資は 56.3% 増となりました。

深圳市はかつて IT 産業を核とする都市でしたが、今は新エネルギー都市になりつつあります。現在、深圳市には 24,000 社の新エネルギー関連企業があり、深圳市の GRP の約 15% を占め、金融産業にほぼ匹敵しています。

中核都市として最先端の基礎科学研究、主要な産業革新、競争力の高い産業クラスターが集まる場所となり、都市クラスター集積の発展に大きな放射線状の誘発効果をもたらしています。

今年、深圳市はまた、深圳－汕頭ハイエンド電子化学品産業園、深圳－汕頭モーターシティハイエンド電子化学品産業園の促進を計画しており、半導体主要材料の研究開発、パイロット試験、基地の拡大、電子情報産業に対し基本的原料及び産業チェーンサプライチェーンに対してのサポートを提供します。「5+3」産業システムの構築を保護するために、深圳市の新エネルギー車、ハイエンド化学工学、電子情報およびその他の産業の発展促進を後押しします。

仏山、珠海の工業 高成長率を維持

過去 40 年間、珠江デルタは世界の工場へと飛躍し、製造業の規模では、珠江デルタ 9 都市の一定規模以上工業総生産額が省全体の工業生産額の 80%以上を占めています。中でも仏山市と東莞市は、製造業が 50%前後を維持している全国でも数少ない都市の 1 つとなっています。

今年上半期の仏山市の GRP は 6,070 億人民元で、前年同期比 5.2%増加し、一定規模以上工業の増加値も前年同期比 7.2%と大幅に増加し、第 1 四半期よりも 0.9%増加しており、広東省内で 1 位となりました。

多くの基幹産業の業績は目立った業績を上げていました。仏山市の工業増加値総額の上位 10 産業のうち、特殊設備製造業が 21.3%、ゴム・プラスチック製品製造業が 12.2%、電気機械器具製造業が 11.4%、化学原料・化学製品製造業が 11.0%、非金属鉱物製品が 6.7%、それぞれの成長を見せてくれました。

特に今年、仏山市の水素エネルギー産業の発展は高速レーンに入り、産業発展の新しい道を切り開きました。3 月 31 日「南海製造」の水素自動車「飛馳科技」(Feichi Technology) の新車が正式に生産完成、南海の燃料電池自動車完成車製造の空白を埋めました。また、美錦能源水素エネルギー科技园の第一期は年産 5,000 台に達する見込みです。現在、仏山市には 150 社以上の水素エネルギー

企業とプロジェクトが集まっており、基本的に水素エネルギーの生産、貯蔵、輸送、加工、利用のチェーンの全体をカバーしています。

仏山市と同じく、2022年のGRPが1兆を超えている、製造業の主要都市である東莞市の工業生産は、今年上半期においては、圧力下に置かれ続けました。今年の上半期には、東莞市の指定規模以上の工業の増加値は2,379.57億人民元で、前年同期比5.9%減、1月～5月より0.7ポイント上がりました。GRPの成長も停滞しており、対外貿易の受注が不足している状況は、昨年後半から今年に入っても続いています。

主要産業から、東莞市のコンピュータ、通信、その他の電子機器製造業の上半期の増加値は4.9%減、電気機械器具製造業は7.4%減、1月～5月よりもそれぞれ0.6%、0.5%ポイント減少しました。

仏山市、東莞市に続き、珠海市は今年における注目都市であり、上半期の一定規模以上工業増加値は766億1,400万人民元と、珠江デルタ9都市の中では仏山に次いで2番目に高く、前年比5.8%増加しています。

中でも製造業の増加値は684億人民元と、7.8%増加しています。新世代情報技術、新エネルギー、集積回路、生物医学と健康、スマート家電、設備製造、ファインケミカルなど「4+3」産業は順調に発展しており、増加値は593億人民元と9.4%増加し、市の一定規模以上工業の増加値の77.4%を占めています。

伝統的な製造業都市である中山市は今年経済成長の新たな道を切り開きました。上半期において中山市は工業マイナス成長のかげりから抜け出し、工業生産は回復を続け、同市一定規模以上工業増加値は前年比4.3%増加、第1四半期と比較し0.1%成長となりました。中山市提案の「新十大艦隊*」のうち、電気機械及び器具製造業は8.7%増、コンピュータ・通信・その他の電子機器製造業は2.9%増、医薬品製造業は41.9%増、食品製造業は6.9%増となりました。

*「新十大艦隊」とは、新エネルギー、生物医薬と健康、新世代情報技術、スマート家電、ハイエンド設備、光電と光学、照明、中山美居（家具・家電などの住宅関連産業）、現代農業と食品、現代ファッション産業の中山市の10の現代における重点産業を指します

その他の都市では、上半期一定規模以上工業増加値は江門市 3.4%、惠州市 2.1%、肇慶市 0.5%の増加となっています。

データによると、2022 年大湾区の総合経済指標は 13 兆人民元を超え、総合的に実力は大幅強化され、国際的な一流ベイエリアと世界クラスの都市群を構築するという既定の目標に向かって加速しています。

2023 年には、珠江デルタの 9 都市の GRP 成長率目標はすべて 5.5%超えが予想されており、大半が 6%以上に設定されています。

珠江デルタ東西両岸における都市産業協力の新たな突破口

広東省は、珠江デルタ地域の産業のハイエンド開発を世界的水準に沿って計画し、珠江東岸のハイエンド電子情報製造産業ベルト及び珠江西岸の先端設備製造産業ベルトの統合を促進することを提案しています。今年 6 月、深圳市と中山市は協力の上、珠江デルタ都市間経済協力区を中山市翠亨新区と火炬開発区に建設計画を立て、その総面積は 66 平方キロメートルに及びます。同計画によると、同地域に翠亨都市新センター、産業チェーンの専門協力基地、ハイエンド製造協力基地、文化及び科学技術協力基地の「1 センター3 基地」が建設されます。

中国国際経済交流センターのチーフ研究員の張燕生氏は、協力区は珠江東西両岸間の都市を越えた新しい協力の形であり、大湾区全体においてもひとつの新しい協力の形であると考えています。深圳市と中山市両市間の協力は、ウィンウィンの協力の新しいモデルを模索し、広東省の質の高い発展において重要な実証的意義を持っています。

【参考資料】

・ [広州－深圳間に第2の高速鉄道建設 南方向延伸線は深圳北駅、香港へ接続](#)
(HKET 2023年7月22日)

・ [フォーチュン・チャイナ 500 に広東省企業 70 社がランクイン 新エネルギー産業が輝かしい結果に](#)

・ [珠江デルタ 9 都市 2023 年上半期経済データ発表 成長率トップは深圳、工業成長率トップは珠海](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度
情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・
中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

=====